

東建パブリニュース

平成30年12月7日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年12月1日
月刊「ゴルフマネジメント」P.45

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

GM
news

東建コーポ、石張りティグラウンド
の実用新案取得

東建コーポレーション(株)(名古屋市)は、経営する東建多度CC・名古屋(18H、三重県)の「石張りティグラウンド」について7月18日付けで特許庁の実用新案登録を取得した。

ティグラウンドの周囲の主に斜面部分を石張りにしているもの。

その効果と特徴は、①芝の面積が減るため、芝刈り作業を減らすことができる。特に難易度の高い斜面での芝刈り作業を削減することで、効率的なメンテナンスが可能になる、②石と芝のコントラストがティグラウンドの見栄えを良くする―とし、今回①と②の実用新案登録を行った。

石張りの構造(厚さは15センチ程度)は、下からリサイクル砕石、ワイヤメッシュ、コンクリート、石(ジェットバーナー仕上げ)となっており、表面の石には御影石やクオーツストーン(高級人造石)などを用いている。白っぽい石がティグラウンドの芝を囲むことでコントラストが映えるほか、石張



り部分に花などを植えて華やかにしている。

毎年春に男子ツアー開幕戦・東建ホームメイトカップが開かれる同CCではすでに18ホール中11ホールのティグラウンドに石張り構造を設置。4年前から取り組んでいたもので年内にさらに2ホールに設置し、将来的に全ホールへの設置を目指している。

以上